



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月6日

上場会社名 大日本印刷株式会社

上場取引所 東

コード番号 7912

URL <http://www.dnp.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 北島 義俊

問合せ先責任者 (役職名) 広報室長

(氏名) 田村 高顕

TEL 03-5225-8220

四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	1,075,027	△1.2	36,127	47.6	40,607	41.3	22,002	122.3
25年3月期第3四半期	1,088,291	△4.2	24,484	7.0	28,737	10.6	9,896	143.4

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 54,676百万円 (325.1%) 25年3月期第3四半期 12,861百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	34.17	34.02
25年3月期第3四半期	15.37	15.33

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	1,548,258		970,827			59.8
25年3月期	1,578,976		937,055			56.6

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 925,994百万円 25年3月期 893,124百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	16.00	—	16.00	32.00
26年3月期	—	16.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	16.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,530,000	5.8	48,000	34.2	49,000	21.5	23,000	19.7	35.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期3Q	700,480,693 株	25年3月期	700,480,693 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

26年3月期3Q	56,572,559 株	25年3月期	56,490,329 株
----------	--------------	--------	--------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	643,959,913 株	25年3月期3Q	644,039,918 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において想定できる経済情勢、市場の動向などを前提として作成したものであり、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の一連の経済政策の効果により、個人消費の増加や企業収益の改善などの明るい兆しが見られましたが、海外の経済成長の減速、消費税率引き上げにともなう需要の変動などの懸念材料もあり、景気の先行きは依然として不透明な状況が続きました。

印刷業界は、原材料価格の上昇や競争激化による受注単価の下落もあり、引き続き厳しい経営環境にありました。

このような状況のなか、DNPグループ（以下DNP）は、事業ビジョン「P&Iソリューション」に基づき、「未来のあたりまえを作る。」をキャッチフレーズとして積極的な事業活動を展開し、顧客ニーズに対応した製品、サービス、ソリューションの提供に努めてきました。また、品質、コスト、納期など、あらゆる面で強い体質を持った生産体制の確立を目指して「モノづくり21活動」に取り組みました。さらに、全体最適の視点に立って国内外の事業体制の再編などの構造改革を進めるとともに、生活者やソーシャル、グローバルといった視点に立って積極的な事業展開に取り組みました。昨年10月には、こうした事業活動の基盤を強化するため、DNP柏データセンターを新設し、電子書籍や電子チラシなどのDNP独自の情報サービスを展開する体制を構築しました。

その結果、当第3四半期連結累計期間のDNPの連結売上高は1兆750億円（前年同期比1.2%減）、連結営業利益は361億円（前年同期比47.6%増）、連結経常利益は406億円（前年同期比41.3%増）、連結四半期純利益は220億円（前年同期比122.3%増）となりました。

部門別の状況については、以下のとおりです。

【印刷事業】

・情報コミュニケーション部門

出版印刷関連は、出版市場の低迷が続くなか、受注拡大に努めた結果、書籍は前年を上回りましたが、雑誌の減少を補えず、前年を下回りました。

商業印刷関連は、チラシ、パンフレット、カタログなどが低調に推移し、前年を下回りました。

ビジネスフォーム関連は、少額投資非課税制度（NISA）のスタートにともなう口座開設業務に関連したBPO（Business Process Outsourcing）事業の拡大により、パーソナルメール等のデータ入力・印刷・発送を行うIPS（Information Processing Services）が増加し、好調に推移しました。

教育・出版流通事業は、リアルな書店とネット書店、電子書籍の販売サービスを連携させたハイブリッド型総合書店「honto」の事業拡大に努めましたが、不採算店舗の閉店などの構造改革を進めたことで、売上は前年を下回りました。

その結果、部門全体の売上高は5,186億円（前年同期比1.4%減）、営業利益は74億円（前年同期比34.7%減）となりました。

・生活・産業部門

包装関連は、フィルムパッケージ（軟包装）は堅調に推移したものの、ペットボトル用無菌充填システムの販売が減少し、前年を下回りました。

住空間マテリアル関連は、消費税率引き上げ前の駆け込み需要などで国内の住宅着工戸数が増加するなか、DNP独自のEB（Electron Beam）コーティング技術を活かした環境配慮製品などが増加し、好調に推移しました。

産業資材関連は、薄型ディスプレイ用反射防止フィルムが増加したほか、フォトプリンター用の昇華型熱転写記録材（カラーインクリボンと受像紙）が昨年12月に開設したマレーシア新工場の寄与などもあって好調で、全体として前年を上回りました。

その結果、部門全体の売上高は3,938億円（前年同期比0.3%減）、営業利益は255億円（前年同期比23.7%増）となりました。

・エレクトロニクス部門

液晶カラーフィルターは、スマートフォンやタブレット端末向けの中小型品は堅調に推移しましたが、大型テレビやパソコン向けが減少し、前年を下回りました。

フォトマスクは、国内向けは伸び悩んだものの、順調に拡大する海外需要を取り込み、前年を上回りました。

その結果、部門全体の売上高は1,294億円（前年同期比5.7%減）、営業利益は93億円（前年同期は19億円の営業損失）となりました。

【清涼飲料事業】

・清涼飲料部門

清涼飲料市場における販売競争が激化する厳しい状況のなか、プロモーション活動を積極的に展開するなど、売上拡大に努めました。

その結果、軽量ペットボトルを使ったミネラルウォーター「い・ろ・は・す」は増加しましたが、コーヒー飲料が減少し、部門全体の売上高は418億円（前年同期比3.0%減）、営業利益は8億円（前年同期比23.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産、負債、純資産については、総資産は、現金及び預金の減少などにより、前連結会計年度末に比べ307億円減少し、1兆5,482億円となりました。

負債は、1年内償還予定の社債の減少などにより、前連結会計年度末に比べ644億円減少し、5,774億円となりました。

純資産は、その他有価証券評価差額金及び為替換算調整勘定の増加などにより、前連結会計年度末に比べ337億円増加し、9,708億円となりました。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の56.6%から59.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の業績見通しにつきましては、平成25年5月13日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	213,630	171,564
受取手形及び売掛金	367,765	363,214
商品及び製品	91,047	91,712
仕掛品	29,030	32,451
原材料及び貯蔵品	18,977	21,038
その他	33,583	26,777
貸倒引当金	△2,883	△2,908
流動資産合計	751,150	703,849
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	196,019	195,215
機械装置及び運搬具（純額）	129,350	115,717
土地	154,005	152,276
建設仮勘定	22,921	28,047
その他（純額）	36,157	34,761
有形固定資産合計	538,454	526,018
無形固定資産		
その他	35,480	32,514
無形固定資産合計	35,480	32,514
投資その他の資産		
投資有価証券	189,657	231,645
その他	70,210	60,052
貸倒引当金	△5,977	△5,821
投資その他の資産合計	253,890	285,875
固定資産合計	827,825	844,408
資産合計	1,578,976	1,548,258

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	249,567	254,500
短期借入金	47,296	43,289
1年内償還予定の社債	50,760	1,780
賞与引当金	16,004	6,526
その他	94,156	89,387
流動負債合計	457,784	395,484
固定負債		
社債	102,800	101,575
長期借入金	19,548	21,619
退職給付引当金	26,441	26,903
その他	35,345	31,847
固定負債合計	184,135	181,945
負債合計	641,920	577,430
純資産の部		
株主資本		
資本金	114,464	114,464
資本剰余金	144,898	144,898
利益剰余金	722,057	723,434
自己株式	△94,226	△94,307
株主資本合計	887,193	888,490
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,908	42,272
繰延ヘッジ損益	8	△19
為替換算調整勘定	△12,986	△4,748
その他の包括利益累計額合計	5,930	37,504
新株予約権	16	16
少数株主持分	43,915	44,817
純資産合計	937,055	970,827
負債純資産合計	1,578,976	1,548,258

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	1,088,291	1,075,027
売上原価	894,715	871,923
売上総利益	193,575	203,103
販売費及び一般管理費	169,090	166,975
営業利益	24,484	36,127
営業外収益		
受取利息及び配当金	3,181	3,362
持分法による投資利益	2,872	973
その他	5,392	5,624
営業外収益合計	11,446	9,960
営業外費用		
支払利息	2,618	2,297
その他	4,575	3,183
営業外費用合計	7,194	5,480
経常利益	28,737	40,607
特別利益		
固定資産売却益	234	985
受取補償金	293	297
その他	121	325
特別利益合計	648	1,609
特別損失		
固定資産除売却損	3,157	3,287
投資有価証券評価損	3,073	154
その他	2,673	436
特別損失合計	8,904	3,878
税金等調整前四半期純利益	20,481	38,338
法人税、住民税及び事業税	10,201	8,691
法人税等調整額	796	6,588
法人税等合計	10,997	15,280
少数株主損益調整前四半期純利益	9,483	23,058
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△413	1,056
四半期純利益	9,896	22,002

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	9,483	23,058
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,215	22,973
繰延ヘッジ損益	△4	△15
為替換算調整勘定	1,178	8,170
持分法適用会社に対する持分相当額	△11	489
その他の包括利益合計	3,378	31,618
四半期包括利益	12,861	54,676
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,655	53,576
少数株主に係る四半期包括利益	△794	1,100

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	情報コミュニ ケーション	生活・産業	エレクトロ ニクス	清涼飲料	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	521,381	386,526	137,273	43,110	1,088,291	—	1,088,291
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,689	8,502	0	1	13,194	△13,194	—
計	526,070	395,028	137,274	43,112	1,101,485	△13,194	1,088,291
セグメント利益又は損失(△)	11,335	20,611	△1,941	654	30,659	△6,174	24,484

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、報告セグメントに帰属しない基礎研究並びに各セグメント共有の研究に係る費用です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	情報コミュニ ケーション	生活・産業	エレクトロ ニクス	清涼飲料	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	514,481	389,300	129,421	41,824	1,075,027	—	1,075,027
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,135	4,538	1	2	8,678	△8,678	—
計	518,617	393,838	129,422	41,827	1,083,705	△8,678	1,075,027
セグメント利益	7,401	25,505	9,373	807	43,087	△6,959	36,127

(注) 1. セグメント利益の調整額は、報告セグメントに帰属しない基礎研究並びに各セグメント共有の研究に係る費用です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

以 上